



UP TO
WORKS
今月の
注目広告



Tiny Homes Episode 1: The Legend Of BLÅHAJ「BLÅHAJ」プロモーションの伝説



Tiny Homes Episode 2: Small Space Visions「狭い部屋の大きな可能性」



Tiny Homes Episode 3: The Grand Reveal「お披露目」

◎ CAMPAIGN

イケア・ジャパン

「Tiny Homes」

Web動画、ポスター、デジタル

イケア・ジャパンの誇りで、日本の、特に一人暮らしをしている若い人たちの多くが「イケアのホームファインディングソリューションは、自分たちのライフスタイルや小さな居住空間に合わない」と感じることがわかりました。

そんな先入観を払拭し、ホームファインディングソリューションとインテリアデザインチームの力で、どんなに狭い空間もハッピーな家に変えられることを伝えるべく、イケアで人気のあるソフトイ、サメのBLÅHAJ「プロモーション」を採用しました。

このBLÅHAJ「プロモーション」のチャームイングとパワフルな影響力を顕花させ、東京都心に見つけた狭小アパートをイケアの家具とアクセサリでフルコーディネートをした上で、月額99円という驚きの家賃で入居者を募集しました。
(Wieden+Kennedy Tokyo クリエイティブディレクター Max Pillwat)

音楽: ◎企画制作/Wieden+Kennedy Tokyo OECB / Scott Dungeate◎マーケティングディレクター/藤本洋介◎CD+AD / Mai Pilwat◎クリエイティブ+FC / Andrew Miller◎C / 西條拓真, Nedal Ahmed◎AD / 宇野千尋, Diana Ganea◎D / 門田真希, 安田直樹◎コミュニケーションプランナー/Justin Lam, 真藤圭人, 渡辺ジョウア○ベータプロダクション / Kerli Teo◎PR / 高橋裕隆, 野村球穂, Syun Kim, 松本木流介, 中塚直樹◎グラフィックデザイナー/加藤健◎編集/ Jacob Kim, Vinod Vijayasankaran◎翻訳/富田真知子◎AE / Jordan Cappadocia, Chelsea Hayashi, 大久保真, William Smith

Web動画: ◎制作/Nakama◎EP / 高橋直樹◎ライティング / Simon Amar◎ライティング+PM / 高橋直樹◎PM(アシスタント) / 高橋直樹◎プロダクション / アナスタシア◎ディレクター, Sara Samu, 杉本友美◎演出 / Mackenzie Sheppard◎演出+監修(BLÅHAJ)◎中の人 / ワンダー◎演出監督 / 藤本洋介◎中の人 / Ivan Kovach◎撮影 / 川原のりあ◎スタイリスト, 伊藤直樹◎スタイリスト, 早川真樹◎スタイリスト / 高橋直樹◎演出 / 高橋直樹◎演出(BLÅHAJ) / 小橋真矢◎衣装+VFX / Nomad◎PR(テキスト) / Masato Midorikawa, 高橋直樹, 高橋直樹◎編集+グラフィック / Hery Nagano, Rina Takachi◎グラフィック / James Clayton◎DIT / Kirk Barrett◎音楽+SEFX / Audioforce◎MX / 山田直樹◎ST / Maiko◎演出+監修◎CD+CRD / 高橋直樹◎CAS / Eiji Leon Lee◎監修(BLÅHAJ)◎中の人 / ドラゴンソング◎GR / 高橋直樹◎制作+KVA, Robert Kirsh◎KVA, 小橋真矢◎グラフィック+高橋直樹, 井手真又◎撮影+印刷/第一製本

AR: フィルマ ◎3DAR制作/Thomas Rawle◎オーダー Anastasia Semenov

10m² APARTMENT
イケア家具付き、狭小、ロフトあり

¥99/ Monthly

0800-808-2681

SUUMO 賃貸検索

Tiny Homes 101 - アパルトメントが提供する賃貸物件情報

0.01万円
0.01万円

0800-808-2681



今月のピックアップ

30周年記念
“あの冬”に
また会える
コピーたち

JR東日本 「JR SKISKI」 2021-2022



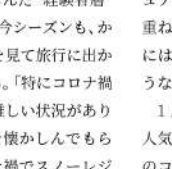
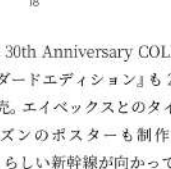
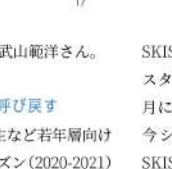
名作コピーを多数生み出してきたJR東日本の「JR SKISKI」キャンペーンが30周年を迎えた。2021年12月から、主要駅構内で歴代コピーを主役としたB全ポスター19種を掲出している。

歴代CMの印象的なシーンをイラストに

「雪男。雪女。」(1991)、「愛に雪、恋を白。」(1998)、「ぜんぶ雪のせいだ。」(2013)——各世代で印象的なクリエイティブを生み出してきた「JR SKISKI」キャンペーンの始まりは、1991年までさかのぼる。毎年展開していたが、1998年を最後に宣伝の規模や手法を見直した。2000年代は2006年のみ実施し、再開したのは2012年のこと。東日本大震災の復興支援になればと、その後現在まで毎年続いている。歴代のコピーは一

倉宏さん(1998)、白石大介さん(1995・1996/博報堂)のほか、ジェイアール東日本企画の武藤庄八さん(1991-1994)、吉田明生さん(1997)、大野健さん(2006)、山口広輝さん(2012-2021)らが担当してきた。30周年を迎えた今シーズンのコピーは「あの冬が、呼んでいる。」。2012年からコピーを手がけてきた、ジェイアール東日本企画 クリエイティブディレクター/コピーライター 山口広輝さんが担当した。「過去のテレビCMやコピーに触れると、誰もがキラキラした冬の思い出が蘇ってくる——そういうパワーを持っているのが『JR SKISKI』。30周年にあたり、見た人それぞれの心に残っている“あの冬”を重ね合わせてほしい、という思いを込めています。」

JR東日本の主要駅構内に掲出された、歴代コピーのポスターは19種類(うち1種類は赤城乳業のキャラクター「ガリ子ちゃん」とのコラボによるレア版)。タイアップ楽曲や主役を演じるキャストの存在が鮮烈な印象を残してきたキャンペーンだが、グラフィックではコピーを主役に。コピーに添えられたイラストは、当時のテレビCMの一場面を想起させる。「ポスターの制作にあたって、世代が異なる人たちに印象に残っているCMや具体的なシーンなどをヒアリングしました。イラストは実際に多く挙げたシーンをキャプチャしてから、トレースして描いたもの。あえて人の顔を描かずに、抽象的なトーンに統一して仕上げています」と話すのは、ジェイアール東日本



企画 アートディレクター 武山範洋さん。

周年を機に「経験者層」を呼び戻す

元々「JR SKISKI」は学生など若年層向けに展開してきたが、前シーズン(2020-2021)では、かつてスキーを楽しんだ「経験者層」をコアターゲットに設定。今シーズンも、かつて「JR SKISKI」の広告を見て旅行に出かけた人たちに訴求している。「特にコロナ禍で若年層のスキー誘致は難しい状況があります。今回は過去の広告を懐かしんでもらうことはもちろん、コロナ禍でスノーレジャーに出かけられない層を呼び戻したいという思いにも合致しました」(山口さん)。

さらにエイベックス・エンタテインメントから過去の楽曲やCMを収録した「JR

SKISKI 30th Anniversary COLLECTIONスタンダードエディション」も2021年12月に発売。エイベックスとのタイアップで、今シーズンのポスターも制作した。「JR SKISKIらしい新幹線が向かってくるビジュアルに、このパッケージのジャケットを重ねました。よく見ると、ジャケットの上にはレコードショップの手書きPOPのようなあしらいを入れています」(武山さん)。

1月末まで、Twitter上で歴代コピーの人気投票も実施した。「僕自身、一倉宏さんのコピー(1998)は特に好きですね。でももちろん毎年、最高傑作を更新するつもりで書いています。スキーの魅力を伝えるだけでなく、冬の観光地に出かけたいくなる機運をつくる役割も担ってきた広告なので、



それぞれの“あの冬”を思い浮かべてもらえたら嬉しいです」(山口さん)。

01-19 歴代のコピー(1991-2020)を主役にしたポスター。2016年は赤城乳業とのコラボで「ガリ子ちゃん」が登場するレア版がある(19)。2017年には映画「私をスキーに連れてって」公開30周年記念でコラボ(04)。

20 JR東日本の主要駅構内で展開(写真:品川駅自由通路)。ポスターの掲出場所は各駅に任せられている。ちなみに府中本町駅では「ぜんぶ雪のせいだ。」(03)のみの連貼りがあり話題に。

21 「JR SKISKI 30th Anniversary COLLECTION」(エイベックス・エンタテインメント)。スタンダード(発売中)、デラックス(3月発売)の2形態。

22 (20)とのタイアップで制作した、2021-2022シーズンのグラフィック。

2020-2021 0全制作/ジェイアール東日本エスエフのCD+CD+CD/山崎真由美AD+0/山崎真由美D/西尾正志、大倉秀樹、斎藤由起/演出/JR東日本主要駅(2021年10月9日～2022年3月31日まで) 01-02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

